

活動紹介 実りの多い被災地見学

今年の夏も京都からヴィアートル学園洛星高校の生徒13人と先生3人が大船渡ベースを訪問して下さり、3泊4日の日程で被災地学習を行ないました。



震災のDVDを視聴し、大船渡町内を見学。DVDに映っていた場所が今どうなっているのかを実際に見て歩き、ベース長の話をお聞きしました。今年の3月に設けられた追悼施設で海に向かって皆で黙祷をしました。加茂神社に向かい、あの日住民が登って避難した石段を登り、高台から現在の大船渡町を見ながら、被災の状況、その後の復旧復興について学びました。

カトリック教会で昼食をとり、その後「東日本大震災被災者のための祈り」を全員で唱え、聖歌を歌いました。素晴らしい歌声でした。午後は陸前高田に行き、仮設住宅を体験し、その狭さや不便さを実感し、語り部の方の話をお熱心に聞いていました。今日の体験を通して学んだ教訓を、これからの生活に生かしていきたいという感想が聞かれました。

被災地に咲く花 ～ネジバナ～



在宅訪問中に緑の芝生の中に咲いているかわいいピンク色のネジバナを見つけました。公園や道路わきの芝生の中から茎を伸ばし、多数の小さなピンク色の花が咲くネジバナは、ラン科ネジバナ属の多年草で、特徴的なねじれた花の姿をそのまま名前にしてネジバナと呼ばれています。

花言葉は「思慕」で、深く誰かを思い慕う心情を表しています。花言葉の由来は万葉集にある一節にちなんでいます。国内分布域は北海道から九州まで、ほぼ日本全土におよびます。1つの花は5mm弱ですが、明るい桃色と独自の形で目立ちます。

身近に見ることが出来るネジバナですが、特徴でもあるらせん状の花の付き方は一定ではなく、右巻き左巻き、中にはねじれずに一直線に並んだものもあります。右回りと左回り、ほぼ半分の割合で存在します。一般的なネジバナは明るいピンク色ですが、稀に白花（白色ネジバナ）を咲かせることもあるそうです。

※詳しくはお問い合わせ下さい。

●カリタスみちのく～つないだ10年、つながるこれから～

インターネットで『カリタスみちのく』を検索していただくと、カリタスベースや小教区の有志グループ同士の情報共有、情報発信を行なっているページをご覧ください。

●カリタス絵手紙の輪 … 随時参加者を募集しています。

●被災地見学のご案内 … ご希望の方はお問い合わせ下さい。

〈被災地見学を予定しておられる皆さまへ〉
下記URL・QRコードから、大船渡ベースの現在の活動内容をまとめたHPをご覧ください。被災地滞在中の貴重な時間をより有効に活用する為に、ご一読いただければ幸いです。（過去の活動の様子は、ブログのアーカイブにてご確認ください。）



★https://sites.google.com/view/oohunatobase/ カリタス大船渡ベース 検索

※一部のスマートフォンでは、文章の段落が崩れて表示される場合があります。

ベースからのお知らせ

大船渡市の中心地の様子 (2024/8/11 撮影)



震災から 13年5ヶ月…

ボランティア登録者数

男性 718人
女性 1391人
⇒ 合計 2109人

◆7月1日～7月31日
ボランティア数
男性: 16名
女性: 0名

活動紹介 待ちました!～陶芸作品展示会～

6月末の深大寺陶芸教室から約1ヶ月。その時作った絵鉢が東京で仕上げられ、ベースに届きました。きっと、皆さん首を長くして待っているだろうと思い、早速作品展示会を開催しました。



当日(7/31(水))は暑い日でしたがお集まりくださり、作品をご覧になりました。ご自分の作品を見つけると、「あれ、こんな感じだったかな?」という声がちらほら。どうやら発色が自分のイメージと違っていただけの方が多いようで、「色付けはやっぱり難しい。」と、仰っていました。

次に、皆さんの作品をお熱心にご覧になり、「こんな柄もいいね。」「ここ色が良い。」などと、皆さんで楽しそうに感想を述べ合っていました。その姿はまるで10代の女学生のように、とてもほっこりした気持ちになりました。

展示会後は壊れないように丁寧にしまってお持ち帰られました。この絵鉢に何を盛り付けて楽しめるのか気になるそうです。

地域のイベント チャオチャオ2024 ～みんなで踊っちゃお!～

陸前高田市の夏の名物行事『チャオチャオ陸前高田道中おどり』が復活しました。もともと道中踊りとして代表的なものは『高田音頭』で、駅前通りを会場としていました。音楽を聴くだけで勝手に身体が動き出すほど、幼い頃から慣れ親しんできた行事です。平成8年、市制施行40周年を記念し制作された音頭『チャオチャオ陸前高田』を市民に広めようと新たに踊りが制作され、当時は早く振り付けを覚えなければと、毎晩地区の公民館に集まって練習していたのを懐かしく思い出しました。

東日本大震災後初めて行なわれた令和元年の前回は、まちなかの目抜き通り、通称『七夕ロード』を会場とする本来の形で繰り広げられましたが、翌年以降は人手不足やコロナ禍で開催を断念。5年ぶりとなる今回は、商業施設『アバッセたかた』前駐車場にやぐらを設置し、輪踊りとして開催されました。子供たちにとって懐かしい記憶の1ページとなりますようにと願っています。



2024年7月の活動紹介

「岩手の湘南」と呼ばれる大船渡も連日暑い日が続く、外での活動はお休みしています。以前は夏休み期間中の学生ボランティアと連日野外活動をしていたのが信じられない気候となりました。

- 2日(火) 子ども支援 ほしっこクラブ
- 6日(土) 個人依頼 衣類整理他
- 9日(火) 子ども支援 ほしっこクラブ
- 18日(木) 上山東アパートサロン 『夏の吊るし飾り』
- 19日(金) 元気度アップ教室
- 31日(水) 陶芸展示会 被災地見学

〈毎週の活動〉

- 水曜日…手芸サロン・買物送迎
- 木曜日…カリタススマホ教室 またはスマホなんでも相談室
- 土曜日…買物送迎 中学生のための英語学習会

- 〈その他の活動〉 ●カリタス工房 ●カリタス絵手紙の輪 ●玄関先訪問 ●ベース整備 ●他団体支援 檜の材料作り

